

(別紙)令和5年度 特別の教育課程(立川市民科)の実施状況等について

1. 学校名 立川市立上砂川小学校

2. 令和5年度 学校における自己評価(箇条書きでご記入ください。)

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・校内研究でカリキュラムマネジメントを進め、単元計画・構成を見直すことで、より課題解決的な学習展開を計画することができた。</li><li>・学校運営協議会と連携することで、地域から講師を迎えることができ、地域への愛着を育てることができた。</li><li>・市民科公開講座では、保護者への立川市民科への認識が高まった。</li></ul>
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・各学年の学習活動がまだ固定されていない部分もあり、学年の系統性や積み上げは不十分である。</li><li>・市民科公開講座以外での情報発信が少なかった。</li></ul>

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象:児童・生徒

項目:⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
55.1%	32.5%	10.4%	2.0%	0%

②対象:保護者

項目:⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
40.6%	47.6%	0.8%	0%	11%